



# 株主のみなさまへ

第61期中間報告書 [2015年4月1日~2015年9月30日]



株式会社ビー・エム・エル

証券コード：4694



# 医療界に信頼され 選ばれる企業をめざす

## 創立60周年に ふさわしい年へ

株主のみなさまには、日頃よりBMLグループに格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社はおかげさまで本年7月5日に創立60周年を迎えました。これもひとえにみなさまのご支援の賜物と心から感謝申し上げます。ここに第61期中間報告書(2015年4月1日~2015年9月30日)をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の事業環境は、2年毎に実施されている診療報酬改定の年度にあらず、検体検査に係る保険点数(公定価格)の引き下げはなかったものの、激しい業者間競争が続いたことなどから、引き続き厳しい状況となりました。

こうした環境の中、BMLグループの業績は売上高54,623百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益4,446百万円(前年同期比6.4%増)、経常利益4,599百万円(前年同期比5.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,735百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

臨床検査事業の売上が堅調に推移したことから、前年同期比で増収となり、業者間競争による価格下落や首都圏ラボを中心とした人員・設備の増強等によるコストの増加を吸収し、前年同期比で増益となりました。

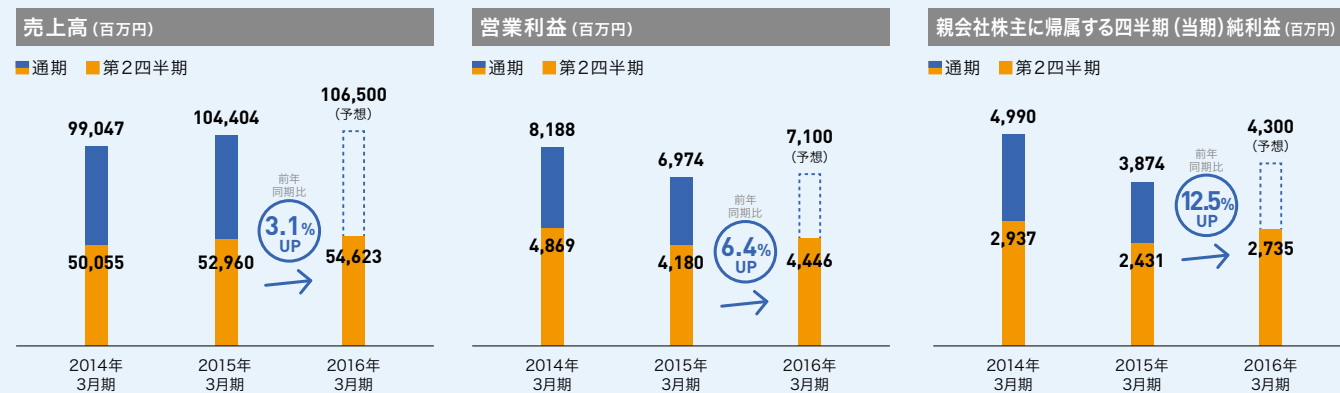
代表取締役社長 近藤 健介



一方、60周年を機に、企業の社会的責任を果たすことを目的として、7月に「一般財団法人ビー・エム・エル医療教育基金」を設立いたしました。当基金につきましては、本報告書の最終ページで紹介をさせていただいておりますが、こうした活動を通じて、社会への貢献にも努めてまいりたいと考えております。

2015年度は『医療界に信頼され選ばれる企業をめざす』をビジョンとした第6次中期経営計画がスタートしております。このビジョンの実現に向けて、BMLグループ一丸となって邁進していく所存でございますので、株主のみなさまには、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 財務ハイライト

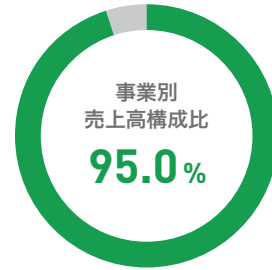


### 目次

- 2 株主のみなさまへ
- 3 営業の概況
- 5 特集
- 7 連結決算の概要
- 9 株式の状況
- 10 会社概要



## 検査事業



### 事業内容

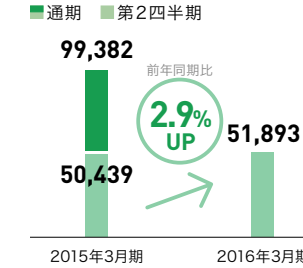
- ・臨床検査
- ・食品衛生検査
- ・治験検査
- ・環境検査

臨床検査をメインに、関連事業として治験検査、食品衛生検査、環境検査などを行っています。

### 業績

連結売上高

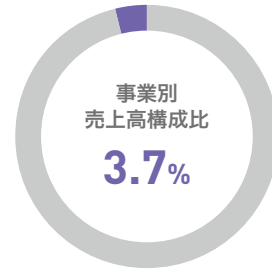
**51,893**  
百万円



▶ クリニック市場の開拓強化を図るとともに、大型施設への提案営業、既存ユーザーへの深耕営業を進めた結果、増収となりました。また、(株)BMLフード・サイエンスで食品衛生コンサルティング事業が順調に推移しました。



## 医療情報システム事業



### 事業内容

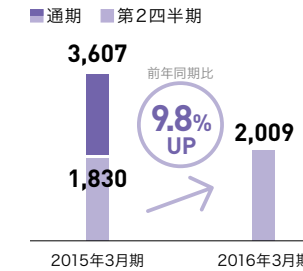
- ・電子カルテシステム - 開発・販売
- 保守サービス

診療所版電子カルテシステム「クオリス」と「メディカルステーション」の販売・保守を行っています。

### 業績

連結売上高

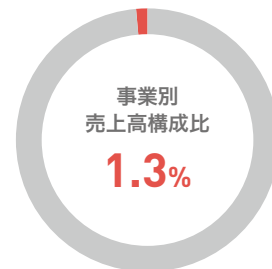
**2,009**  
百万円



▶ 診療所版電子カルテ「クオリス」と「メディカルステーション」のラインアップにより、引き続き新規契約の獲得と既存ユーザーへのリプレースを推進し、増収となりました。



## その他事業



### 事業内容

- ・調剤薬局
- ・SMO

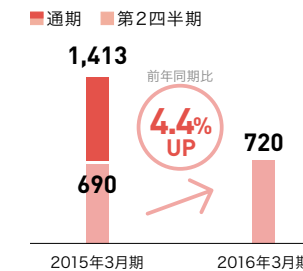
※ SMO: 特定の医療機関(治験実施施設)と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関

調剤薬局事業とSMO事業を行っています。

### 業績

連結売上高

**720**  
百万円



▶ (株)岡山医学検査センターの調剤薬局事業の売上が伸びたことにより、事業全体では増収となりました。



# 創立60周年 ～BMLのあゆみ～

創立60周年を迎えた  
BMLの成長の軌跡をご紹介します。

2015年(平成27年)  
グループ連結  
売上高1,000億円を達成

売上高  
(億円)

1,000

800

600

400

200

2015

## 1955年(昭和30年)

7月5日(株)相互ブラッド・バンクを設立し、血液銀行業を開始

厚生省から「医薬品製造許可・第8314号」取得



創業当時の本社屋

## 1966年(昭和41年)

民間臨床検査センターへの事業転換を決定

「日本一の臨床検査センターを志そう」の誓いのもと事業開始

## 1975年(昭和50年)

営業所第1号として富山市に北陸営業所開設

この年から全国地方都市へ超スピードで拠点展開



1975年(昭和50年)11月、東京都中野区に取得した新本社ビル

## 1980年(昭和55年)

自社ブランドによる「グリコヘモグロビン」の測定システム「モニター・Gカラム」の製造販売を開始し大きな注目へ

## 1985年(昭和60年)

メインラボ「BML総合研究所」始動



新事務センター完成時のBML総研

## 1989年(平成元年)

「(株)ビー・エム・エル」に社名変更



各マスコミに掲載した社名変更の広告

## 1995年(平成7年)

メインラボ「BML総合研究所」で検査の自動分析トータルシステム「シンフォニー」完成



「シンフォニー・ケミストリー(生化学)」「上」と「シンフォニー・ヘマトロジー(血液学)」「下」

## 2000年(平成12年)

電子カルテシステム「メディカルステーション」販売開始

医療情報システム事業スタート

## 2001年(平成13年)

4月25日 念願の東京証券取引所市場第一部上場が実現



万感の思いで迎えた東証一部上場

## 2002年(平成14年)

大塚製薬(株)の臨床検査部門を営業譲受

新自動検査ライン「新シンフォニー」、新自動分注システム「新フロンティア」本格稼働  
ロボット搬送システムの採用により一層安全で独自性のあるシステムを実現

## 2006年(平成18年)

新自動検査ライン「新シンフォニー・ケミストリー」本格稼働

## 2007年(平成19年)

新自動検査ライン「新シンフォニー・ヘマトロジー」本格稼働

## 2008年(平成20年)

「新フロンティアシステム(自動分注システム)」本格稼働

## 2011年(平成23年)

東日本大震災発生

営業所・ラボも被災したがグループ各社のバックアップにより営業を継続

## 2011年(平成23年)

(株)岸本医学研究所が関係会社へ

北海道地区における高いシェアを実現

## 2011年(平成23年)

九州地区に(株)九州オープンラボラトリーズ(QOL)発足

(株)フォレストHDとの間で合併会社「QOL」を設立し、九州地区を中心に臨床検査事業の顧客サービスを強化

## 2014年(平成26年)

(株)岡山医学検査センターが関係会社へ

岡山地区を基盤として地域医療に密着したネットワークを築いて展開する同社が仲間入り



岡山医学検査センター

1955

1960

1970

1980

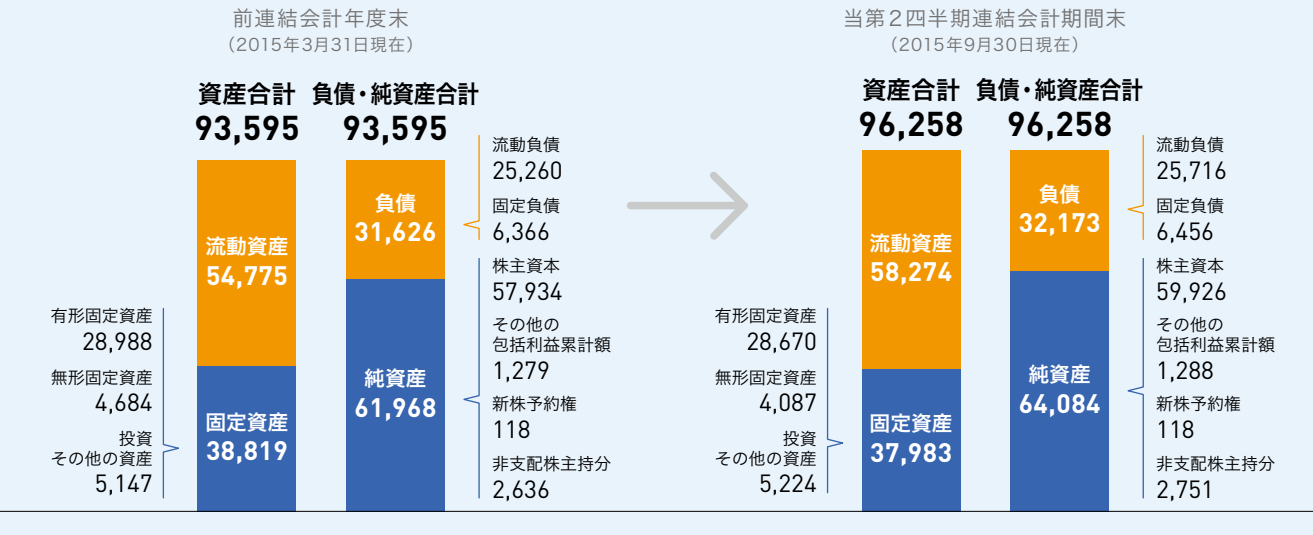
1990

2000

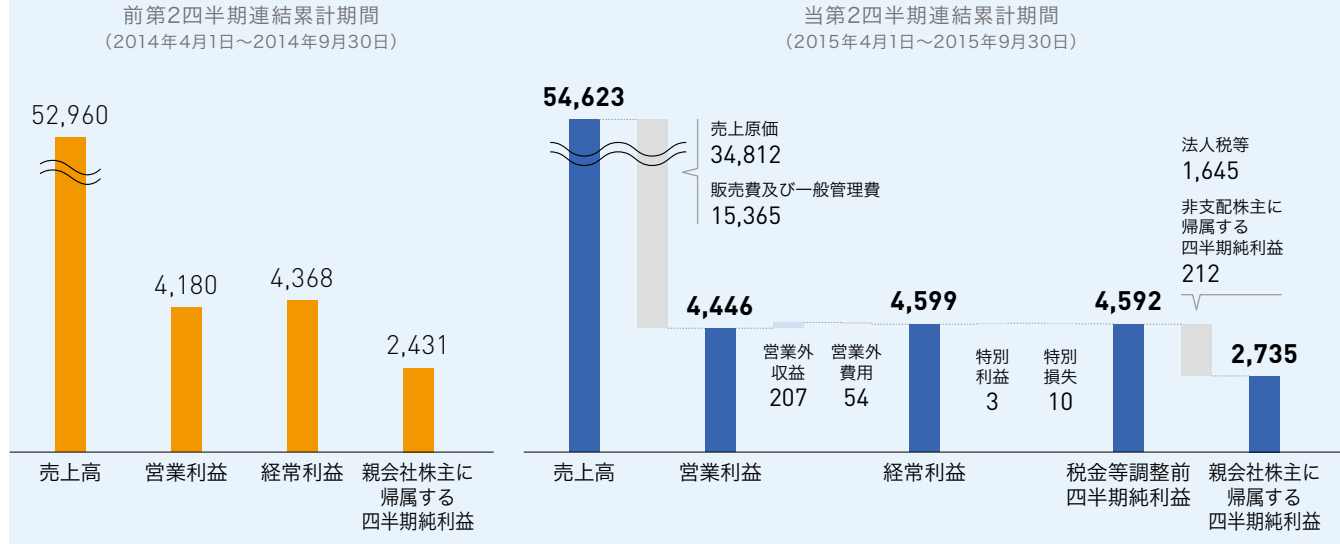
2010

2015

連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



POINT

➤ 資産

現金及び預金が増加したことなどにより、962億58百万円(前期末比26億63百万円増)となりました。

➤ 負債

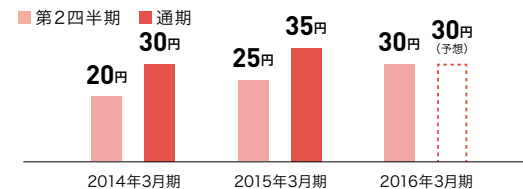
流動負債で支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、321億73百万円(前期末比5億47百万円増)となりました。

➤ 純資産

利益剰余金が増加したことなどにより、640億84百万円(前期末比21億16百万円増)となりました。

配当について

当社グループは、株主様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けたうえで、安定的な経営基盤の確保と資本利益率の向上に努めるとともに、配当については安定配当の維持・継続を基本方針としつつ、連結業績に応じた配当水準の向上に努めております。なお、当期の中間配当は30円とし、期末配当の30円と合わせ年間では、前期と同じ1株当たり60円の配当を行う予定です。



POINT

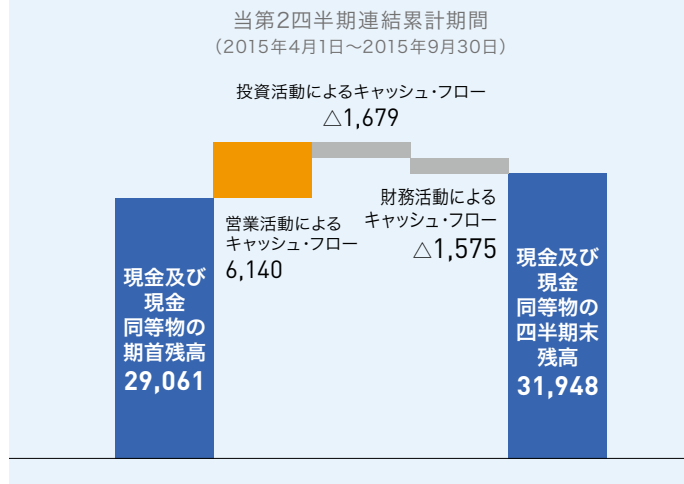
➤ 売上高・営業利益

提案営業などの強化により売上高は前年同期に比べ増収となり、営業利益は増益となりました。

➤ キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、61億40百万円の資金収入(前年同期比3百万円収入増)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、16億79百万円の資金支出(前年同期比15億36百万円支出減)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、15億75百万円の資金支出(前年同期比97百万円支出増)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



# 株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式の総数 22,007,363株

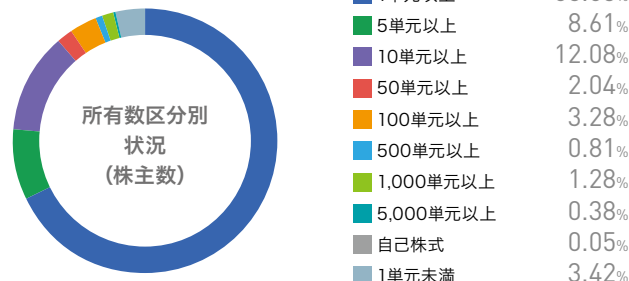
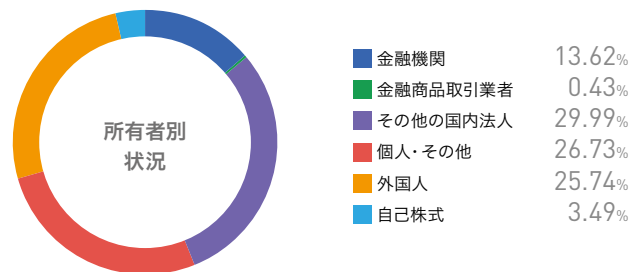
単元株式数 100株

株主数 2,103名

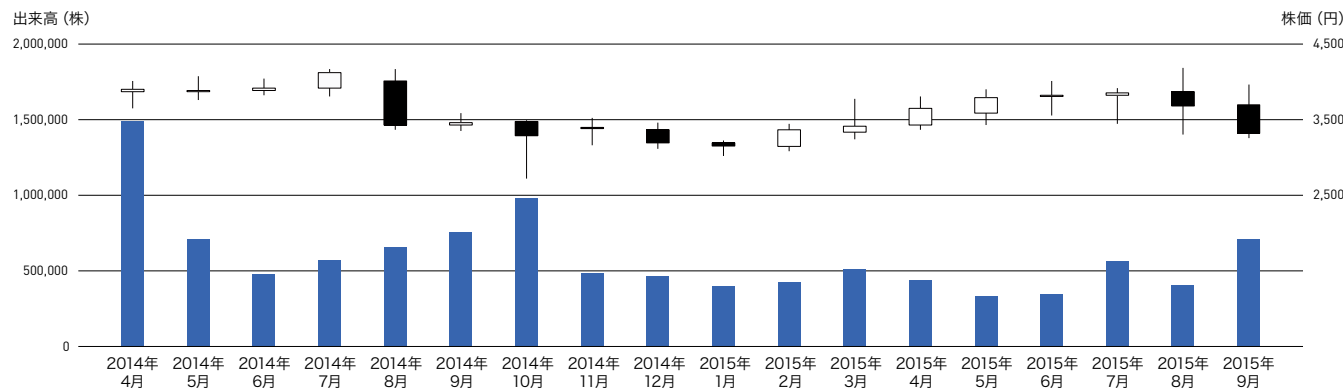
## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ビー・エム・エル企画	3,590	16.31
近藤健次	2,217	10.08
近藤健介	1,475	6.71
有限会社エステート興業	1,389	6.32
大塚製薬株式会社	1,000	4.54

## 株式分布状況



## 株価チャート



# 会社概要 (2015年9月30日現在)

## 会社概要

商号 株式会社ビー・エム・エル  
(英名 BML, INC.)

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3  
TEL: 03-3350-0111(代表)  
<http://www.bml.co.jp/>

BML総合研究所 埼玉県川越市市場1361-1  
TEL: 049-232-3131(代表)

設立 1955年7月

資本金 60億45百万円

従業員数 4,483名(連結)

事業内容 臨床検査の受託業務等

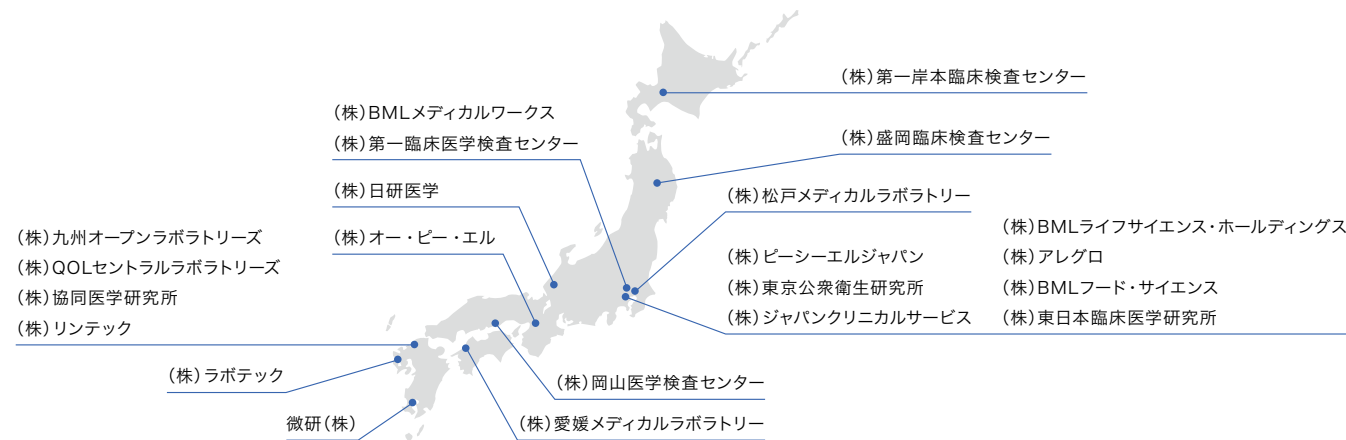
公告掲載URL <http://www.bml.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

## 役員及び執行役員

代表取締役最高顧問	近藤 健次	社長*	近藤 健介
代表取締役会長	荒井 裕	専務執行役員*	大塚 敬
代表取締役社長	近藤 健介	専務執行役員*	荒井 信貴
取締役	大塚 敬	常務執行役員*	山下 勝司
取締役	荒井 信貴	常務執行役員*	千喜良 真人
取締役	山下 勝司	常務執行役員*	中川 雅夫
取締役	千喜良 真人	執行役員*	乗附 厚司
取締役	中川 雅夫	執行役員	須田 英也
取締役	乗附 厚司	執行役員	上原 到
社外取締役	山村 敏夫	執行役員	山口 敏和
社外取締役	山本 邦克	執行役員	加瀬 尚澄
常勤監査役	是安 俊之	執行役員	榎本 聡
社外監査役	齋藤 敏雄	執行役員	奈良部 安
社外監査役	加々美 博久		

\*社長及び取締役計7名は、執行役員と兼務になります。

## ネットワーク





## 「一般財団法人ビー・エム・エル医療教育基金」の設立について

当社はおかげさまで創立60周年を迎えました。その記念事業の一環として「一般財団法人ビー・エム・エル医療教育基金」を設立いたしましたので、株主のみなさまにもご紹介させていただきます。

「一般財団法人ビー・エム・エル医療教育基金」は、臨床検査技師をめざす学生への奨学金支給を主な事業として、2015年7月に設立いたしました。創立60周年の節目の年に、医療関連企業として、医療従事者をめざす人材の育成を支援することにより、わが国の医療技術の発展に貢献してまいりたいとの趣旨によるものです。

当基金の奨学金の特徴は、返済が不要であり、また卒業後の就職に関する制約がないことがあげられます。学業優秀でありながら、経済的な理由により就学困難な学生のみなさんに対して、有用にお使いいただける内容となっております。

現在、全国の臨床検査技師養成課程を有する専門学校・大学に対



して、奨学生の募集を行いました。今後、外部の専門家等で構成される選考委員会による選考を経て、本誌が株主のみなさまのお手許に届く頃には、本年度の奨学生が決定する予定となります。

今後とも、引き続き当基金の活動等を通して、医療界の発展に貢献してまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきたくお願い申し上げます。

### 株主メモ

決算期	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会権利行使株主確定	3月31日
	株主配当金受領株主確定	3月31日
	中間配当金受領株主確定	9月30日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 (〒103-8202) 株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも お受け付けいたしております。 URL <a href="http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html">http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html</a>	

#### 各種手続のお申出先

- ・ 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人(※)にお申出ください。
  - ・ 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等  
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。  
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行(※)へお申出ください。
- (※) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店でも行っております。

(電話お問合せ・ 日本証券代行株式会社  
郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-8620)  
0120-707-843(フリーダイヤル)